

特別講座

本願寺を彩る技に楽しく触れる 美しい仏具が生まれる瞬間

～京都産業大学名誉教授 下出祐太郎氏が選奨～

し げ だ いらう
下出 祐太郎

京都産業大学名誉教授 下出時絵司所三代目 学術博士・伝統工芸士 即位礼や大嘗祭の神祇調度時絵や伊勢神宮式年遷宮御神宝に携わる 京都迎賓館飾り台「悠久のささやき」等を制作 日展24回連続入選、以後フリーで活動 卓越技能章 瑞宝単光章 京都市芸術振興賞 後継者育成に力を注ぐ一方、漆芸はじめ工芸文化財の研究に取り組む。



9/19(土) 13:30～15:00

ご予約は
こちらから



彫金師から学ぶ 純銀製の指輪づくり

～本願寺の鍍金具の歴史と彫金技術～

定員 先着20名

参加費 5,500円(材料費2,500円を含む)

「鑿(たがね)」という、金属に模様を彫るための道具を使い、世界に一つだけの指輪を作ります。また、本願寺に使われている「鍍金具(かざりかなぐ)」と呼ばれる金属の装飾についても学びます。その歴史や美しさ、職人の技術がどのように受け継がれてきたのかを、国が認めた伝統工芸士がわかりやすく伝えます。天然の素材、工夫された道具、そして驚くような技法の一部を、実際に体験しながら楽しく学びます。



講師

しまだ まさき
島田 雅喜 彫金師(伝統工芸士)

昭和53年京都市生まれ 島田彫金工房雅三代目 島田健三郎氏に師事 京都府仏具協同組合主催技術コンクール受賞多数

にしむら じゅんいち
西村 純一 彫金師(京もの認定工芸士)

昭和59年城陽市生まれ 車塚工芸二代目 西村真仁氏に師事 京都府仏具協同組合主催技術コンクール受賞多数



7/25(土) 13:30～15:00

ご予約は
こちらから



蒔絵師から学ぶ 螺鈿ペンダントづくり

～本願寺の螺鈿技術について～

定員 先着20名 参加費 5,500円(材料費2,500円を含む)

螺鈿とは、貝殻の美しい真珠層を模様の形に切り漆器の加飾に施す技法で、本堂の仏具や経箱などに施される技術技法です。螺鈿に使用されるさまざまな種類の貝に触れ、その伝統的な技術を用いて、アワビ貝の薄貝を針で模様を切り、ペンダントを作成していただきます。荘厳用具の美しさを、体験を通して楽しく学びます。



7/11(土) 10:00～11:30

ご予約は
こちらから



指先で楽しむ やさしいつまみ細工体験 ～伝統工芸で作る、花のストラップ～

定員 先着20名 参加費 4,200円(材料費1,200円を含む)

伝統工芸「つまみ細工」を、手のひらサイズで楽しむ講座。つまみ細工は、正方形の布を折って花びらを作り、重ね合わせて仕上げる、日本ならではの繊細な工芸技法です。

今回は工程をシンプルにし、お花部分のみを制作します。昔から用いられてきた伝統的なりを使用し、下の揺れる飾りは取り付けるだけで、愛らしいストラップが完成します。布の質感や色合わせを楽しみながら、世界に一つの作品を仕上げてみませんか。色は数種類の中からお選びいただけます。



講師

にしむら ゆうき
西村 有希 一般社団法人つまみ細工協会
伝統のり製法インストラクター

幼い頃より日本の伝統工芸や文化に関心を持ち、2015年春に出会った一冊の本をきっかけにつまみ細工の世界に魅了される。現在は大阪天王寺にて講師として活動している。



7/11(土) 13:30～15:00

ご予約は
こちらから



若き伊東忠太が見た“巨匠”辰野金吾 ～一次史料から読み解く関係性～

定員 先着40名 参加費 3,000円

巨匠・辰野金吾の背中を追い、建築を学んでいた若き日の伊東忠太。二人の関係はどのように築かれていったのでしょうか。本講座では、伊東が残した日記やノートなどの一次史料を手がかりに、師辰野へのまなざしと、そこから育まれた建築観を読み解きます。伊東忠太研究者ならではの視点で、建築史の舞台裏に迫ります。



講師

くら かた しゅんすけ
倉方 俊輔 大阪公立大学教授
建築史家

伊東忠太の研究で博士号を取得し、『京都 近現代建築ものがたり』『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』ほか著書多数。建築公開イベント「東京建築祭」の実行委員長、「京都モダン建築祭」「イケフェス大阪」の実行委員を務めるなど、建築の価値を広める活動を行っている。

